

CAT6用プラグの特長

ケーブルダイレクトのCAT6ケーブルは、プラグが違います。

プラグには、従来のRJ-45プラグには無かった「ワイヤ分割チップ(下写真参照)」を持っており(クロス分配方式)、プラグ先端まで”より戻り”が無いように各ワイヤのツイスト状態を保持するだけでなく、CAT6用ケーブルの”十字型介在(右記参照)”の特性をプラグ先端まで保持する役目を持っており、1000BASE-TX(CAT6)規格のデータ伝送に対しても十分なマージンを確保して通信することができる構造になっております。

